明治三十七年十月四日第三種郵便物認可

朝鮮日報

定價　一ヶ月　金參拾錢
發行所　朝鮮日報社

言論

時局と國民

顧みれば去る二月の八日仁川の夜襲砲火劍戟の聲も何時しか過ぎ去りて最早一歳となり、爾來連戰連勝遼陽沙河の會戰亦た優功を奏し今や旅順が金城鐵壁も攻不落の要塞たる國守の旅順は既に我有に歸し北韓からも之し平野の大敵軍を抑ふる程の進捗を見せるも猶も前途何遼遠たるは吾等國民の夙に熟知する處にして未だ吾人の知足を滿足し歡樂すべきの時にあらず、我はエ〔illegible〕ツプの權利否爭を唱へてより今に世は弱肉強食の世にて優勝劣敗の社會たるは獄に見よ露國は逞張る、日本は獨立保全を主張する、從ひて國際の紛擾は益々蒸発かれ、下して遂に火相交ゆるの悲劇は演ぜらるゝれば戰爭の開始は血河屍山の巷に雌して一尺の地を占領するも血一滴を前に進むる期、斯かる慘澹の努力が活動を起して國家の安危を計り又此苦辛なくば我が國民百年長計の策をとる能はざれば奈何なる苦辛の下にも不安の下に生存するや、自ら血と涙さへの民は奈何に精神を殺し奈何に至極の悲慘を生ずるや、吾人は今回の戰爭には大に努力すべきを思ふ、是れ實に戰爭哲學中の「向上的努力」その者で況んや吾人の愛國心を更に發達せしめ或は又同胞は一大家族なりとの國家的觀念を自覺せしめ或は死して同胞を助けよとの國民的宗教を悟導せしむ由來我國民は神佛儒以外實に上御一人に對し非常に莊嚴の信仰を有しあるは國民獨特の美態ならずや、嗚々吾人國民たる者は大に起つて國の爲め歴史の爲めに奮勵せざる可からず、昔希臘の市民ソクラスは起つて事に赴き偉功を奏し〔illegible〕を捨て、戰場に馳せ〔illegible〕來を以て祖國の〔illegible〕して大に怡語するあり、愛なる神の入主イエスキリストは我が平和をよび來らんために来れるにあらずと激訓に言へり、モハメットは聖心廟〔illegible〕として劍を執りしにあらずや、試に〔illegible〕佛陀の教に〔illegible〕三世不動の利劍をとれり、〔illegible〕

諸士は今に到つて祖國の爲に觀諾し〔illegible〕歴史の壯美に〔illegible〕して事に赴く者は〔illegible〕

通信

門司特報（九日發）

特派員　玄洋生

●〇〇兵團の奮戰（黑溝台の奮戰）

〔illegible〕黑溝台附近の會戰に參加せし某將校本日〔illegible〕着、〔illegible〕去月廿五日〔illegible〕

燒き滿州一面に降りしきる吹雪猛火天を

〔illegible〕

しきの傷にて分隊長の職務が勤まらぬ事はありません

〔illegible〕「余は〔illegible〕」と〔illegible〕

一個聯隊なりしが遂に之を全滅せしめ海參崴の陣地に退却せり

〔illegible〕二十六日二十七日の兩日に於ける〇〇聯隊の損害は死傷數少佐一名大尉中尉以下特務曹長に到る迄約二十四名なり〔illegible〕

慶尚道事情に關する釜山領事館の調査

第十章　農業（續）

第一、麥作

麥は全國を通じて栽培するものゝ如しまど〔illegible〕

一、耕作

〔illegible〕

第十二、土地賣買及地價

〔illegible〕

雜錄

〔illegible〕

僕の近頃（五）

さすらい人

朝鮮は安風齊俗の國で日本は一隅の鄰國あど吐ざく、土地の學者と稱らせる〻先生でさへ天地は卵の樣な形で地極に行けば天よりもれるなりとコロンブス以前の天文學説を得々と振回はしたり、地圖を見せて日本の人口は五千万で朝鮮は壹千万だといへば土地は朝鮮の倍しかないのに人間が如何してソンナに這入るかと云たりする、人口の多寡は土地の廣狹より密度の如何に依るだと歐州と亞非利加の例、近くば京畿と江原の例を引て話して聞かしてもどうしてもソンナ事はないと首を横に振る、世界に小人國があるの雙眼國があるのと支那的な伽噺の樣なことを信じて何處迄も主張する、イクラ云ても不可ぬ、ソレジャ何處にあるかといへば何處か知らぬが現に在ると附持する、或品物を日本出來かと聞くから〔illegible〕だと答へた處が〔illegible〕といふ國が世界にあるもんかと自己の狹い智識を標準とまでで〔illegible〕が萬事で總ての事が斯る始末である、一体に朝鮮人程固陋に知て人を無稽と笑ふ〔illegible〕

〔illegible〕

朝鮮日報

京城通信（二月八日 本社特派員發）

△戰報 五日朝歩兵約一小隊ローレー[illegible]は之を撃退せり同日午後五時[illegible]砲兵は大台[illegible]附近の敵[illegible]砲兵は鐵道橋附近を射撃し敵の小斤統李大人屯東地方に來り亂射せる外大なる變化なし

△北關露兵被服に窮す 北關よりの情報によれば同地方の露兵は百中三四十の割を以て韓服を着し居り又先日洪原附近の衝突に於て敵は鰯紺の上に直に外套を着し居たる等ある等より見るときは該地方に於ける露兵は被服の供給不充分にして困却し居れる情態を察するに足るものありと而して同地の露兵は此頃に至り漸く戰局の大勢を傳聞せしもの、如くペルノブ（[illegible]）の通譯が其友人に送れる書簡中旅順は陷落しハルピンは危險となりたれは我等此地に在るも詮なければ漸次引揚ぐとの意を書し居たりと北關露兵の志氣沮喪せるを見るへし

△學部と農商工部 昨夕の通信に林公使より議政府參政趙秉式氏に對し學部と農商工部を廢止すへく勸告せられたる旨記し置きしが尚精しく聞く所によれば右は意味に於て多少の相違あり兩部をも之を全廢すると云ふ事に非ず特に學部の如きは今後益々之を擴張すへき[illegible]經過の變理を計るへきものにて其期する所の目的は永遠なれば大臣の如き他の各省に傚ひ屢交迭するが如きは大に不可なる事なれば之等を豫防すへく特別の官衙に改め農商工部は性質上經費の關係より内部に屬せしむる主意より勸告を發せられたるものにて決して兩部を無用の官衙として廢止すへく照會せられたるものにあらずと韓廳す

△宮制改革案發表と韓廷 韓廷に於ける官制改革の評議は已に略決了したるも今後韓政府指名の任に當り居る本邦公使に之を通照し尚政府の承認を經たる上確定せらるへき次第なれば其發表までには今後多少の時日を要すへし

△内官免除の期近きにあり 韓廷に於て異常なる勢力を保ち居る内官の特勢の擾轄に從ひ近々免除せらるゝに至る可く現に陛下は四五日前此等の者に對し宮中に來る[illegible]の結果[illegible]を特に本官中渡されたり

△林公使の謁見 林公使は本日午後三時海軍將校十五名及公使館員夫人等を同伴し韓帝に謁見ある筈なり[illegible]如く記せし新聞あるも右は誤り也

所ありたり

△間島の所屬問題 久しく清韓兩國間交渉の案件となり居る間島の所屬は今回新任清國公使の着任により其交渉を提起せらるへしとの説あり

△林公使の招宴 林公使は明晩各文官及軍人諸氏を招待して開戰紀念の宴會を催さるゝ由

△三國の民留任を請ふ 公州觀察使署理の電報に依れば遞任觀察使沈健澤發程に付ての日清韓の三國民道を遮りて留任を請願す

△民情日に急也 寧邊觀察府の電報に定州、宣川、楚山、渭城、慈城、熙川の六郡守是送せられ為めに民情日に急を告ぐ

△署理の任命郡守の滯任 高原郡守署理文川郡守丁將燮の報告に高原郡守劉榮祚は元山港に任留して赴任せざる事已に數月に亘るも京城軍司令部よりの認可なく任留する事に至ると云ふ今聞く所に據れば元山港務官朴洪昊司令部より署吏に任せられたりと云ふ

△ツ[illegible]嬢の宅に宴會 昨日午前十二時より日、英、米、佛、獨、西の各公使、領事は貞洞ソンタク嬢の宅にて宴會を催せり

△結婚 佛蘭西[illegible]は軍樂隊教師[illegible]の令女と結婚し其の儀式を本日午後一時佛蘭西公使館にて行ひたり

△金鑛合同契約の復審 伊多利公使の請求に係る金鑛合同契約の一事は外部より返答するに金鑛擇定の上にて契約を締約すへしと云ふ

△御前會議の流會 七日の御前會議は人員未滿の為め流會となれり

△彈劾上疏 崔益鉉の彈劾上疏は議政府理趙秉式先づ上疏する事となれり

△幣原參與官契約調印 同參與官の契約調印は先日來已に其準備整ひ居るも官制改革に於ける學部の位地確定に至らざる為め自然延引中なるが官制決定と同時に完了すへしと

△軍部本年度の經費支出方法 本年度の豫算は已に先般發表せられたるが尚其實行に付て聞くに軍部は目前の命令とも二百萬圓を減額して度支部より支出を受くるなど、なり客年十月頃設立すへく決定したる研成學校及武官學校の建築等は本年度に於ては見合す事となれり

△本日南大門外の石戰 本日午後南大門外傳車場附近に於て朝鮮特有の大石戰あり韓人の集まるもの數千名爭鬪の結果百名内外の負傷者あり日本人の其附近に見物し[illegible]掛れるもの又四五名[illegible]一時は[illegible]騷なりしと

馬山浦通信 愛犀生

▲紀元節と餘興 國力發展の紀元節を[illegible]なり鐵道監督の右[illegible]郵便局の前面より税關[illegible]に於て式場と定め前面には大アーチを設け百尺竿頭より萬國國旗を吊るして式場を飾り亦左右兩側には種々の造りものを出して觀覽者の一笑に供するなり數日前より其の準備おさ〳〵怠りなかりしが偖而其の當日午前十一時となるや全港の來賓參集し了れは班特尾長大佐は來賓を設けの席に案内し且つ一場の挨拶を爲し終て 天皇陛下の萬歳を三唱して來之に和せるの后宴會に移り[illegible]なる者より上戸は更に設のビーヤホールに飲み下戸は餅や善哉店に走り各店何れも非常の人氣なりしが斯くて一發の煙花を合圖に鐵道班員の仕組になりし遊技は開始せられたり數番競技の後ち態々釜山より招きたる鳳凰巳下の角力取り十三名が角力進に有志の飛入りもありて非常の喝采を拍し漸て午後五時閉場せしが實に馬山開港以來未曾有の盛事にてありき

▲漁村の計畫 千葉縣水產聯合組合より派遣されたる吉野文吉氏は此の程家族を引連れ[illegible]中なるが仝氏の談に依れば千葉縣水產組合は新に韓國沿岸に漁民を移住せしむるの目的にて本年四月の頃を以て第一回の移住民として百名を鎭海洞に移し模範的漁村を形造する筈なり

▲恤兵獻金と善哉屋 商人の多くが自己の經營の外他に目的なきが殆んど通有性なるが茲に感ずへきは當地の小西善四郎氏は恤兵獻金の目的にて昨日善哉屋を開始せしが時節柄[illegible]を爲しつゝあり

▲郵便受取所 本月十日より馬山郵便局は昌原並に舊馬山浦に郵便受取所を開始せり

▲疫病 由來馬山は空氣の良好と水質の善良なる為め傳染病等なかりしが[illegible]此の程[illegible]患者を發し避病院に入院中なるが幸に全病を蔓延せざるは幸ひなり

▲[illegible]

元山通信（二月六日） 長白生

▲北韓[illegible]多事ならんとす元山の[illegible]

▲北韓にありし露兵の退却したる以來北去[illegible]退却するならんとは[illegible]なりしが果然[illegible]敵も又[illegible]に向つて退却し始めたり

▲[illegible]悉く取り外し電柱は吉州迄切斷し全隊北方に向て背進し二十九日は最後と迄て其軍司令部も城津を撤去せり

▲今や城津以南一敵を見ず其退却せし者は鏡城に集合しつゝあるも偵騎は或は吉州附近迄南下する事あるへし

▲之を聞く露兵の退却命令に接するや欣喜踊躍して一同ウーラーを三唱せりと云ふ其無邪氣にして天眞の流露する恥笑すへきか否か

▲長津郡の住民觀察使の不法徵税に反抗して民亂を惹起し觀察府より鎭撫のために派せし小吏を抑留しつゝあり民衆の集まるもの約三百と稱す

▲元山第一銀行の出張所主任たりし竹山純平氏は今回歸京する事となり後任として木浦支配人西川太郎一氏來着せり竹山氏の去るを惜むと共に西川氏の來任を歡迎す蓋し第一銀行は今や當地の金融界に益する少なからず北業務の益々繁ならんことを[illegible]

▲前項の交任披露として兩夜にわたり居留民の重なるもの一同を大芳樓に招き盛大なる宴會ありし

▲開戰後一週年當方面漸く多事ならんとし種々の風説の喧傳する前年と異ならず試みに列擧せんか○○の○○及び○○附に於ける我○○○等趾指に暇なし而かも其或者は現實する遠からざるべし

▲義勇艦隊の寄附金募集は好成績にて目下一萬余圓に達せしが其方法さへよくば尚增額すへき状況なり

雜報

城廠方面の戰鬪（門司特報七日玄洋社發）

廿三日艦隊を發し本日歸來せる某將校の談に曰く城廠方面の敵は黑溝台に於ける支隊の迂回行動を怖れて陣地守の最も猜疑なるものを撰み配備しおるものなれば抵抗力の強大なる武器の精巧なる到底世間に傳ふるが如き烏合の騎卒にあらず而して其敵一個旅團以上にして彼我對陣の距離僅に三百米突乃至七百米突を距つるのみ唯此の方面の敵は我軍の最右翼に當りて獨立行動を執れるを以て

花大人の率ゆる義軍が屢々敵軍を夜襲し糧食を奪ひ斥候及び鐵哨を驚かす等殆んど寧日なく疲れしむる擾亂行動を爲すを以て敵は此の方面防禦に忙殺せられ我軍に向つての夜襲は近來稍々減じたるが如し最も去る一月六日の衝突は非常の混戰惡鬪を演したり此敵は大部隊の兵を三部に分ち一は後備第○○聯隊の前哨線を包圍し一は寧子谷及び三家子我が兵站線を襲撃して食糧を強奪せしめ[illegible]火を放ち[illegible]前哨中隊は[illegible]下士團は遂に行衛不明となり我に○○名の死傷者を出したるは[illegible]敵は多數の死屍を遺棄して退却したるが[illegible]廿三日迄は其後一回の襲撃を受けざりしと云々

石關聯隊の奮戰（於門司 歸來將校談）

黑溝臺附近の會戰に際し[illegible]某兵團の○○後備聯隊は敵の右翼大部隊の逆襲せりとの報に接するや牛居方面に赴援すへき命令を受け廿七日黎明急遽前進を開始せしも北光臺子方面より[illegible]北風矢の如く膚を吹く[illegible]雪は五寸餘積を埋め[illegible]容易に接戰すへからず[illegible]狀態に陷りたる可し[illegible]勇往奮進し白兵を交へて猛擊亂鬪遂に牛居[illegible]を占領せり[illegible]

[illegible]一方ならず寧ろ同氏の熱誠によりて成立せしといふも不可なしとて斯教育者の間に稱揚せらるゝ程なりと果して然らば當居留民は相當の感謝の意を表さゞるべからずとは某教育家の談也

●敬神會記事 目下基本財産として五千餘圓に及び居る由にて右金を以て龍頭山神社の祭典神樂費となす由なり▲昨今全會に入會する人多き由なり

●一昨日の紀元節 朝來天氣晴朗にして甚だ心地よき大節なりき各戸にては例の如く國旗を掲げて祝意を表し又小學校にては假教室に於て拜賀式を執行せり夜に入りては料理店杯も相應に賑ひ戰勝國の紀元節としては聊も遺憾なきもの、如し

●釜山鐵話所記事 今回新たに二十臺の煮肉釜を增設する由にて目下建設中なるが右煮肉釜を增設する時は現時の二倍製出高を見るを得べしといへり尚仝所大津技師は明日頃所用を終へ門司より歸所あるべしと

●福田祐二氏 京釜鐵道會社庶務課長たる仝氏は社用を帶び一昨日出帆の義州丸にて大阪へ趣かれたり

●大池氏 目下京城に在り十五六日頃歸釜せらるべしといふ

●奧村氏の不快 當港駐在憲兵隊長奧村氏は五六日前より不快にて引籠中なるが昨今發熱四十余度に及び見舞者にも多く接せざる模樣なりと一般同氏の為めに全快の一日も速かならんことを望み居れり

●群山丸 昨日午前四時入港すへかりし群山丸は如何なる都合なりしか仝十二時に至るまで入港せざりし多分門司に寄港したるならんといへり

南山役以來

●常設小學校長 [illegible]小學校長として新任せらるゝ木野照氏は一昨日來着せり氏は熊本縣大草郡尋常小學校長として[illegible]

●京釜鐵道會社の新年宴會 京釜鐵道會社は[illegible]全會社員一同の全會を開き午後七時より[illegible]五十餘名[illegible]盛會を極め全十一時頃散會せり

●博愛社慈善音樂會と婦人連 大阪博愛社慈善音樂會[illegible]は當港に於て來る廿日頃[illegible]を開會する筈なるが右に就て當港有數の婦人三十余名の賛助ありといへば非常の盛況なるべしといふ

●恤兵巡錫 當港[illegible]は去月[illegible]恤兵部へ寄附するの[illegible]二日を以て[illegible]合計百[illegible]拾六錢を得たるに依り全日[illegible]へ寄附せり

●成田氏の成功 當港[illegible]小學校[illegible]

●小宮鐵五郎氏の從軍談（四）

後に入りたる窮鳥同樣の余は益に無惰性まる支那人の為めに又もや其兩足を執られて引き摺り出されんとするに至りたれば今はさはさせじとかく際、手に觸れしものあるを幸い固く之れを握りてすがり着かんとしてけるに、其物は脆くも離れ來りて、一二間が程引き出さる、事となりしが、始めて心附き見れば、手に握り來りし支那農夫の上衣なる故、物の[illegible]は是れ等を云ふべき、忽ち一計を案して假りに支那農夫の姿をなして敵眼を瞞かさんと決心し、彼支那人の手を緩めたるを機とし、之れに向つて最早斯の場合となりては立ち去るべければ寛しく手を放すべき旨を申聞けければ漸く之れを納得して手を放つ、余は重ねて其傍に在る下着と農耕に用ゆる肥桶とを貸し與へんことを求めたるに、初の程は到底聞き入るべくも見へざりしが、最後に軍隊へ歸省したる上に報酬として錢を與ふべき旨を約したれば、流石は支那人の事とて今迄は恰かも鬼畜の如き態度なりしものが俄かに急變して懇願これを諾す、茲に於て余は急ぎ農夫の姿と化し、肥桶を擔ふて其家を出で、其遠近を見渡せば先づ此處を往返し居たる敵の斥候騎兵にして、今尚は之れを恐らず又其後方に聚集せるは敵の本隊にして、凡そ六百位あるべし、進軍の用意既に成りて、號令一下すれば即時に進發すべき態度を取れり、察するに是れ此部隊は、九連城の敗兵にして、今は四方我軍の占領內に屬しければ、止むを得ず窮鼠却つて猫を咬の譬に漏れず、湯山城方面の我守備隊を衝いて北西方面に遁れ去らんとするものなるに外ならず。余は斯くと胸中に察せし、直ちに之れを老古洞の我本隊に報告せんとしたるも、其歸路には既に敵斥候の爲めに斷たれて其警戒頗る嚴重にして危險此上なきにより寧ろ迂廻して湯山城に出で、之れが敵狀を同地守備隊に報告するも亦た一策なりと考へ、數回敵騎の間をくゞりつゝ急ぎ湯山城へと引返したり、而して彼の支那人は一心強くも報酬を受けんが為めに余に尾して來れるものなることを知るべし午後五時頃無事湯山城へ着し、直ちに之れを其地駐割の守備隊に告げければ、同地駐割守備隊長は厚く余を勞はられ、直ちに敵兵討伐の令を下し、余に嚮導たらしめたり余は此命を受け忽ちにして攻守其地を異にするを得たれば、踴躍雀躍して前頭に立ちて敵の討伐に向ひたり、本隊は湯山城より進むこと約一里半餘、行く〳〵斥候を放ち敵狀を窺はしめつゝありたるに、暫らくして歸來せざるのみならず、濃霧に妨り遙かに三發の銃聲を聞きければ、我軍にては之れにより敵の所在地を察し今は猶豫すべきにあらずとなし其方向を指して突進き々銃火を相交ふる事となりたり、此時の交戰は午後七時より始まり一時は頗る激烈なるものなりしが、敗殘の敵軍如何でか我が勇武なる皇軍に敵すべき八時半頃に至り終に我が銃火に支へず多數の死傷者を殘して右往左往に潰亂したり、而して此れ等の敵兵は何れも嚢中の鼠同樣の地に陷りたるものなる故其後十日内外の間に於て、歸路を得ずして各所に潛匿せるもの全軍殆んど之れを我軍の手に於て捕虜とせられたり、蓋し此時の討伐は實に敵軍が我軍の不意に乘じ襲撃して一方に退路を開き遁れんとするの計畫なりしを、却つて我軍の為めに機先を制せられ單に其目的を達する能はざるのみならず、却つて全軍の潰滅を致すに至りしは、我軍に至つて實に天與の幸福と云ふべし、是れより先き余は湯山の任務を全ふし、其交戰せられ、隊長は余をして其駐割地に退き休養せしめられ、同時に此討伐に於て其隊の偉功を奏し得たるは、一に汝が報告の宜しきを得たるに外ならずとの旨を以て同隊長より賞狀を下され、翌朝漸く我が直屬部隊に追くことを得たり（未完）

（明治卅八年二月十四日　第三種郵便物認可）

朝鮮日報

社告

元山支局主任　淺野虎三郎

弊社今般元山津に支局を開始し右淺野虎三郎氏を以て主任とし通信及本紙賣捌其他廣告取扱等を致させ候間續々御愛讀御申込の程願上候

明治三十八年二月十三日

朝鮮日報社

小説　露探狩り　黒潮

（十五）不思議の盗難

円可なる旅宿に在りし杵島は工藤賢七の長崎より來着せるを待つて同等かの密議を凝せる後、工藤とは一列車前に出發せしめ、其日の午後山陽鐵道に乗りてお梅と共に神戸行の途に上れり。

會し時刻に、彼の岸も亦東京行きの切符を買ひつゝ、彼の仲仕連の運び來れる大鞄を手荷物に預けて自分は一等室に彼の仲仕体の男四人は孰れも三等室に乘込みたり。

一等室には既に杵島等の一行ありたるが彼の工藤の先發せる爲め、杵島は岸健三を知らず只お梅のみ杵島の隙を窺ひつゝ、眼にて岸と物言ひかはしつ。

お梅は聞けよがしに。

「旦那、神戸は宿は何處におらつしやるの」

杵島「さうさな、何處でも好いが、まあ向ふに着いてから定める事にしてもいゝだらう」

お梅「でも旦那、妾しやあ、蓬萊樓と云ふ家に宿つて頂くと大變都合が好いんですよ」

杵島「何故だ、昔の情夫でもゐる譯かな」

お梅「あら、彌うぢやないんですよ、妾の元の朋友が其家に仲居をしてゐるですから」

此際は低かりしが、苦々しげに聞へたり。

杵島「さうか、うれおや工藤とは別い宿の方が好いから、さうしやうかな」

お梅「彌うして旦那、外にゐらしやる前に妾を一日丈け大阪に遣つて下さいませんか叔母の處に」

杵島「大阪は己れも行くから連れてゆかう」

叔母さん處は何處だ、今度一度も噺をした事が無いぢやないか」

お梅「あの下殿島と云ふ處であまり汚穢い家ですもの」

杵島「汚なくても好いぢやないかお前の叔母の家なら己も行かう」

是もお梅の作り言なりき、實は杵島が最早日本を去る事を覺つたるお梅はどうにか其手より離れんと工夫するにて杵島は亦己れは曾て米國行の旅券を所持せるもお梅を同行するに就て困却せる折なれば其朋輩や親族があると云へばどうにかしてお梅の旅券を採る手續を頼まんとの下心あればお梅の同行を好まざるに反して杵島の方より其大阪の叔母の家を訪ふ事を主張するなりけり。

お梅「さう旦那の樣に仰しやるなら、一所に來て下さい、妾しや關はないですが、叔母が背風で大變氣にするんですから、それが氣の毒なんですけれど」

汽車の神戸驛に着く迄は別に變りたる事も無かりき、お梅は頭痛するとて僻したるまゝ夜中頃より眠りたり、岸は始めより毛布を延べて如何に彼たるまいと心地よく眠りたる樣なり唯彼の杵島の瞳のみは終夜一睡もせず、頻りに何をか考へつゝある樣子なりき。

汽車は神戸驛に着きぬ、杵島はお梅を伴れて此處にて下車せり、それより懷中せる手荷物合鑑を出して其大革鞄と西洋風のトランク二個とを受取りつゝ、お梅が旅館へ通知として足の運きを押し遣る如く車に乘せて海岸通りの蓬萊樓を指して。

汽車は神戸驛を發して三の宮に着きぬ、其時此處より下車せるは岸健三なりき。

●東北人大懇親會　同會は昨日午後五時より南濱町鳴戸樓に開會せり來會者五十餘名、發起人の開會の辭あり次て遠藤警察署長の釜山發展と懐舊談ありて後宴に移り酒三行耳に醉漿を引きて獻酬織るが如く中にも當日第一の氣餞家近藤京釜鐵道監督の縦横談、窪田野村氏の餘興紅燈盛んに坐間を斡旋するありて頗る盛會を極め午后十一時半散會せり、當日参會者の重なる人は左の如し

▲近藤警察署長▲今村病院長▲近藤京釜鐵道嘱托醫▲窪田明法學士▲佐藤郵便野村郵便局主任▲鈴木電話交換局長▲佐々木大韓興農會枝師長▲相澤朝鮮日報社幹事▲古山全日報記者等

●金具燈籠の寄附　當港南濱町西洋料理店主小倉貞之助氏料理業鳴戸常松兩氏より金具燈籠一個宛を龍頭山琴平神社へ寄附せられたり

●神社を利用する罪過　昨今「琴平神社敬神會本部」或は「伊勢大神宮崇神會▲部」等の名儀の下に趣意書寄附人名簿等を一纏めとして當港の敬神家に驅誘し來り寄附金を强請するものある由なるが中には詐僞手段のもの、頗る多ければ一般社會へ

●ドンザイラアン　韓人のお正月中とて韓人等の中には新調の編笠様の帽子を冠り花簪を帽子に書き流し那邊より拾ひ來りしか古大鼓や鐘やらを打鳴らし踊るやら刎ねるやら宛然假鬼共の巫山戯るとも異ならぬ騷ぎをやつて居るなどなかく～呆れた沙汰也

●紀元節と十日の遊艦　寄贈り詳しく新年中働きつゝある吾等例の休日殊に紀元の祝日、一日の骨休みはマア素晴なあたるまい、イザヤ釜山の地を遺れ去らうと大人も子供と袂を連ね態々つれて本社を出でぬ、空は一点の雲なき日本晴れ流石は天長節を吾等平素の勤め振りに愛でゝのことか此日和、龍頭の山は綠に、絶影の島は霞に、搦ては玄岩の青海原、波を蹴り行く異帆片帆、悉く耳目の内に收めたる吾等は市井の塵芥の、如何にも阿呆らしく將た吾等の境遇のなさけ無さを感じ來りて轉た厭世の念を起さゞるの觀ありしが走は何時しか北濱道、前夜の修羅場跡に入りぬ、累々たる瓦片、焦れたる燒材の横たはれる側、白衣を着けし數多の韓人は其跡片付けに雇はれつゝ汗水流して働きつゝあるも一種異樣の姿なりき、轉て歩を轉らして領事館前に出で棚内に眼を放てば庭内の白梅何時しかに綻び發先て薫ばしき香り、の花と諸共ゐ君萬歳を謳歌せしチョビ髭先生醉眼朦朧としてたゝづみあるも滑稽、風姿なりき、時しも日山の端に入りて暮色又蒼然、四方の風色は闇に入るの夕ぐれと、なりぬ、早々社に戻れば時辰は八時を報じぬ。（驚）

●芝居だより　松井座に繼て開演中なる嵐三津橘一座の女芝居は本日より藝題を改めて一座車輪の大奮闘に寄掛片輛の技をあらはして觀客に滿足を與へんとのことなり狂言は前幕近江源氏にして切幕には廉の富三郎、又中幕は本日より大奮闘、播州皿屋敷七幕切等梅川忠兵衛との事なり

（投書函）

◎入銭投書に禁ゐる勿れ
◎廣告吠聽にする勿れ
◎百字以上を用ゐる勿れ

▲釜山の芸者は靜かなりませんか（一寸五分▲讀者にけるさへすれば火叶ふ偽らぬと云ふことに存義である（八年公士）▲京釜鐵道の暫名を承はつて入る方はなきや（ヘ度の子）▲南濱の某油屋の息子さんは鳴戸の芸子の者に熱い相な（おき）▲東萊溫泉にはそれが毎晩ありますか知りたし（處女）▲月遅けた嘘せぬ枝の締かなる下にげみて〇〇など語れば皆秋は十五（毒…生）▲朝鮮の衣類は

寸欧米人の衣類に似て居ると云ふも間違つてはいけない（文福茶釜）▲龍頭山は首を縮るとせんよ（夢の助）▲愛の女神だなぞと無暗矢鱈に才媛美姫を崇拝する當世の詩人文士にアノ小便の音を耳元で聞せてやりたい（浪士）▲釜山の商店は朝寢する癖があるが本町の高瀬商店と森忠商店は實に朝早いが各商店は模範として此慣習を改行しては如何だ（孤月）▲韓妓の衣装の白いには驚いた炎暗路に佇立たときは宛然幽靈のやうで飲んだ酒も醒めてしまう樓主たるもの衣裝の改良に意を注げよ（日本の遊客）

注意　本日より月曜日の休刊を發表して其の代り木曜日に休みます

寄告

資本金壹千万圓　積立金百七拾万圓　第一銀行

一土佐産竹木材及杉皮　一最上等土佐木炭

右ハ今般手船ヲ以テ輸入仕候間精々勉強ノ上極廉價ニ販賣仕候間多少ニ不拘御買求メノ程奉願候也

二月十二日　西町二丁目一番地（今西酒店前）　杉本商店

亡母送葬之際ハ御會葬被成下難有奉謝候一々拜趨御禮可申候得共御尊名伺漏レモ難計候間新紙ヲ以テ御禮申上候敬具

二月十三日　男　小方駒藏　西村傳兵衛　親族一同

廣告

組合員各位ノ御便利ヲ計リ草梁倉庫ニ穀物貯藏致候間御希望ニヨリ本日ヨリ同庫ニテ相渡可申候

但シ草梁倉庫ニテハ搬出傳票ヲ證トシテ相渡候内規ニ付同處ニテ御受取御希望ノ方ハ弊店ニテ搬出傳票御請求上御持參相成度候也

二月十三日　縄叺聯合組合　長谷川商店（電話五十七番）

活版印刷　釜山南濱　日本堂

西洋料理廣告

各位益御清福之段奉欣賀候陳れば弊店共四方諸彦之御愛顧を蒙り日増繁榮仕難有仕合ゐ奉存候然るに近來物價騰貴致しゝ及ひ料理も是迄通りにて出來兼候へは無余儀一品の價格金貳拾錢ゐ相定め候就てハ爾來一層念入風味精選仕候間何卒舊ゐ倍し御引立之程偏ゐ奉懇願候敬白

西洋料理店　辨天町　新堂（電話弐拾七番）　西洋料理店　幸町　小倉庵（電話五百拾番）

今般當地ニ支店ヲ設ケ鐵道貨物運送營業開始仕候

京城仁川各停車場ニ本支店及出張所アリ京釜鐵道上要各驛ニハ代理店アリ鐵道便ニ依ル各地仕向品ハ取扱可致其他一切委托販賣ノ御用命ニ應ジ申候

京城府　相田組　草梁停車場前　運送部　釜山支店

印章ゴム印彫刻　釜山大廳巷　文珠堂

●新座敷披露　三月十四日より新席を設けて…御料理席を披露仕候間…御来駕の程奉願候…

御飯　うづら飯　けい肉飯　あいなぎ飯　ゐまこ飯　をやし飯　茶むし碗　すし

三　會席御料理　等



上酉酒店　西町三丁目

純牛乳　健康無比　良乳迅速配達　富平町　磯村牧場（電話五壹）

大阪商船會社　汽船釜山出帆廣告

本浦仁川行　義州丸　同　二月十九日
東安丸　同　二月二十一日
仁川行　バイキング丸　同　二月十五日
群山浦木浦群山行　アモイ　同　二月十七日
本浦群山行　木浦丸　全　二月十八日
下關神戸大阪行　蒼龍丸　同　二月十三日
厳原下關神戸大阪行　手取川丸　陽　二月十七日　午前六時出帆
元山行　五第　佐川丸　全　二月二十四日
下關神戸大阪行　安東丸　全　一月七日
アミコー　二月十三日
肱川丸　二月十六日
群山丸　二月十七日
蒼龍丸　二月十八日
バイキンク　二月十九日
アモイ　二月廿一日
木浦丸　二月廿三日
義州丸　二月廿四日
肱川丸　二月廿五日
二月十七日

日本郵船會社　瀛船釜山出帆廣告

木浦仁川行　ヲハヨー號　陽陰　二月十三日
仁川チーフ行　日東丸　全　二月十九日
荷客取扱所　大池回漕店

同　瀛船釜山出帆廣告　回漕店

元山行　防長丸　二月十五日
荷客取扱店　三木回漕店（電話八番）

堀商會　瀛船釜山出帆廣告

京畿丸　定期検査中
慶尚號　全
慶寶丸　全
泰盛号　陽　二月十二日
正成丸　陰　正月九日
荒山行　仁川群山間航海中

堀商會　釜山代理店　本町郵便局前　山川回漕店（電話一七八番）

池田汽船門司長崎行　松前丸　陽陰　二月十六日　正月十三日
全長崎直行　幸光丸　全全　二月十二日　正月九日
野村汽船群山仁川行　寧靜丸　全全　二月十六日　正月十三日
荷客元扱　釜山港本町通海岸郵便局前　山川回漕店（電話一七八番）

大川運輸株式會社　深川海軍釜山出帆廣告

定期連絡汽船　嚴原唐津行（九州鐵道ニ連絡ス）　若津丸　二月十四日　午後六時
中上回漕店方　荷客取扱店　國中商店

馬山浦行　山陽丸　陽陰曆　二月十三日　一月十日
八頭司運送部

廣告

大坂尼崎瀛船今般當店ニ於テ荷客取扱候間陸續御用命之程奉願上候
大池商店回漕部

大阪尼崎　瀛船釜山出帆廣告

仁川行　下關神戸大坂行　神代丸　陽陰　二月十四日　月日
大有丸　全全　二月十七日　月日
第二崇敬丸　全全　二月十三日
荷客取扱店　大池回漕店

瀛船釜山出帆廣告

馬關行　第八永田丸　陽陰　月日　月日
世昌洋行瀛船　報司神戸大阪行　ダクマル號　二月日
仁川膠洲灣行　スルベルグ號　二月日
門司神戸横濱行　ゼマリーナク號
沖永回漕店（電話武百武拾七番）

廣告

世昌洋行瀛船乘客貨物元取扱引受候ニ付御便利ニ御相談可仕候間多少ニ不拘御申込被成下度此段廣告仕候也
北濱一丁目　齋藤孝藏

世昌洋行汽船出帆廣告

門司神戸大坂行　ダクマル　二月　午後五時出帆
仁川濟行　スルヘルク　二月　午後八時出帆
世昌洋行汽元取扱店　齋藤回漕部

朝鮮日報

廣告

● 有價證券買賣
● 電話讓渡讓受委托ニ應ズ
● 勸業債券
● 水產會社株券
● 精米所株券

右御入用之候間賣却希望者ハ御一報被下度候

幸町三丁目
公ナル周旋業 津田光藏
電話二七五番

東京直輸入
嶄新にして大流行品
はきもの たび類
特別廉價を以て販賣します
內山商店
電話二五六番

● 漆器陶器日用家具其他新古諸道具
● 御小賣廉價販賣
● 諸品競賣委托ニ應ズ
● 御不用品何ニテモ買舛
● 新小說講談貸本有
古物業雜貨商 西町三丁目 油谷商店 電話一七

血を增し肉を肥し胃を健にする
蜂印葡萄酒
滋養飲料として他に如くものなし
韓國一手發賣元 幸町一丁目 ㊀ 齊藤商店 電話番號一四四

大坂每日新聞 一ヶ月代 四拾八錢
萬朝報 一ヶ月特別大割引 三拾錢
幸町二丁目長手通 山口新聞舖

◎東京日々新聞◎報知新聞◎大阪新報◎
萬朝 朝鮮唯一の大新聞 朝鮮日報 一月卅錢 配達快速
廣告印刷大勉强取次
大邱方面一手特約販賣所
雜貨商 朝日商會
◎大阪朝日新聞◎大阪每日新聞◎西鮮◎
日韓語學◎報◎朝評論◎日露戰記◎

支那料理 そば 西町三丁目 東庵

齒科診察治療時間
自午前八時至午後五時
但日曜日正午十二時限
齒痛患者此限リニ非ラズ
西町三丁目卅八番地
深江齒科醫院
（電話二百五十二番）

屏風フスマ表具類一切調進所
西町三丁目三番地
岡田松月堂

白鶴代理店
幸町 栗山酒店（電話八拾六番）



歐米時計各種
電氣鍍金 金、銀、赤銅、ニッケル 保險付
附屬品各種色々 修繕確實
幸町一丁目 園田時計店（電話二一〇番）

東京天ぷら
御辨當 會席仕出し 其外御注文次第 廉價ニ御調進可仕候
東京 とゝき 支店 釜山銀治屋町 西町筋 五丁目角

會席御料理仕出し
西町三丁目（電一一三）
春日

寫眞撮影 釜山全景其他各地風景色寫眞韓人風俗數十種
長手通辨天町
平井寫眞館





勉强廣告 通
國府洋服店

南濱海岸通リ四ツ角
多少ニ不拘大勉强
米穀商 西原

家屋新築清潔ニ
眺望風光明媚
勉强 旅館
取扱は親切丁寧に
京釜鐵道沿線三浪津海岸
龜屋

大日本專賣局指定韓國
官煙輸入元

釜山幸町一丁目
● 文明
● 朝日
● 大和
● きざみ 印刷煙草
きりん印 煙草 韓國一手販賣店
齋藤支店

本舖大阪喜香堂
● 貧血丸 ひんけつしやう きよしやくしやう
● 梅毒專門藥 ひえしつの良藥
日本一藥舖 をとらに
韓國釜山富平町支局

獸醫
富平町拾七番地
中尾祐作
電話四拾四番

● 風邪良藥 妙振出し
● 安質比林丸
● 醫科器械類
● 和漢洋藥類
藥劑師 辨天町一丁目 山本町 弓削藥舖

唐津石炭 がらす炭
國安商店
電話一七

丁寧親切 南濱町六番地
柳井旅館

磨擦米廉價販賣
富平町 岡本商店（電話三十一番）

東京御料理
麥とろ あそび
南濱海岸通り
（電二四四）

釜山幸町南濱通一丁目拾五番地
共生齒科醫院

● 滋養スープ
● 洋食
● 會席 む
● 御茶わんむし
● 蒸し飯
● 其他 御好ニ應ず
幸町 養壽舍

萬金物問屋
大工道具・信州鎌・打刃物・諸釜類
商標 光
下村商店

開店廣告
弊店今回左記各種雜貨御小賣商特別廉價販賣仕候間多少ニ不拘御注文之程冀望仕候
黃燐々寸 安全燐寸
白赤さらしあん
硝子板各種
洋釘各種 洋鐵各種
其他各種
釜山港本町三丁目十九番地
石川勝治

夜來昨夜火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
留守宅 鵜池佐與吉

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
北濱一丁目四番地
山本歌之助

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
下村釜山支店

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
本町十一番地
田口商店

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
本町十三丁目
藤井淺太郎

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
團野酒店

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
武生商店

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
後藤祥一

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
相山助市

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
頭川善平商店

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
本町 ピハエチ、スミツ
オ、ヘンセル

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
水野嚴商店

昨夜類燒ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
藤勝釜山出張所

謝近火御見舞
北濱 粟谷出張店
本町三丁目 株式會社第一銀行釜山支店
木村雄次
谷喜藏
石川勝治
名出音一
河內山運平
松前才助
倉成熊助
本町三丁目 河村茂一郎
弘中芳太郎
松本旅館
高瀨支店
本町二十六番地 株式會社朝日商會釜山支店
本町三丁目 釜山埋築株式會社
谷喜三郎
中野許多郎
山田惣七郎
坂本岩松

昨夜失火之際ハ早速御駈付御盡力被成下難有奉鳴謝候一々拜趨御禮可申上筈之處混雜ノ際御尊名伺洩モ可有之候ニ付乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
齋藤孝藏

昨夜近火ノ節ハ早速御駈付被下難有奉存候一々參堂御禮可申上筈ニ御座候得共混雜中貴名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御禮申上候
二月十日
矢橋商店

材木建具廉價販賣
富平町精米所側
平松商店

御旅館並ニ御料理
和洋御料理 附屬牛乳搾取販賣所營業
日本郵船會社代理店 大邱東門外 新築十八棟園內四季ノ花
達城館

諸賣藥卸賣 十 滿韓賣藥商會

● 釜山天氣豫報（十二日）
● 韓錢相場（十二日）

京釜鐵道 西行 東行